

校内共通のノート指導を活用した指導の充実

【春日部市教育委員会】

- 1 学校、学年、教科 小学校、全学年、国語・算数
- 2 ねらい 校内でノート指導の共通理解を図り、学び方の定着とともに指導の充実に努める。

3 取組内容

○ 校内共通のノート指導を活用した指導の充実

本校では、「読解力・思考力・表現力を育成する授業の創造」を研究テーマに国語科・算数科の2教科を中心に研修を推進している。

特に、国語科・算数科の学習では、それぞれ本校独自の学習ルール、ノート指導の仕方を設定し、全職員で共通理解を図り進めている。

ノート指導は、学び方の確立や基礎学力の定着に向け大切なツールである。全学年とも、児童一人一人が自分の考えを確実にノートにまとめられるように支援する。

【国語科ノートのまとめ方学習プリント】※高学年用

国語のノートの例

○月○日○

日付を書きます

課題

青えんぴつで囲みます

えんぴつで囲みます

まとめ

先生の板書
自分の考え
を書きます

○わかったこと
○考えたことなど
短い文で書きます

※○△だけの反復ではなく、短い文でまとめましょう。

国語のノートのまとめ方

- ①学習課題を写しましょう。
- ②自分の考えを書きましょう。
- ③先生が書いた板書を写しましょう。
- ④今日のまとめを書きましょう。
- ⑤今日の学習記録・自己評価をしましょう。

※鉛筆を正しく持って、姿勢よく、ていねいに書きましょう。

「ひとりで」
「ともだちと」
「先生に」
「学習記録」
「自己評価」

このプリントを児童のノート貼り、常に一人でも学べるようにする

算数の時間に自分の考えをつたえよう (1~3年)

赤いえんぴつ3本、青いえんぴつ4本あります。
あわせてなん本ですか。

実物を使ってつたえよう

※ えんぴつえを動かして、答えを考えたら、みんなの前でもやってみよう。
みんなの前で動かしてみせると、自分の考えがつたわるよ。

ブロックを使って伝えよう



※ ブロックを使って、答えを考えれば、そこにはない物でもすぐに答えが見つけれられるね。
みんなの前でもブロックを使って動かしてみよう。

絵や図を使ってつたえよう



※ 問題の様子を絵や図にしてみよう。
もっとわかりやすくなるよね。
発表を聞いている友だちにもわかりやすくなるよ。

友だちに自分の考えをつたえるときは、声に出して何回もれんしゅうしてみよう。
れんしゅうするうちに、自分の考えに自しんがもてるよ。
どンドンみんなの前ではっぴょうすることができるよになれば、あなたは「はっぴょう名人」です！
算数がとくになることまちがいなし！ さあ、きょうからチャレンジ！！

ちゅうしゃ場に車が4台あります。そこへ8台きました。
また、2台きました。全部で何台になりますか。

式でつたえよう

① $4 + 8 + 2 = 12 + 2 = 14$ 車がきたじゅんにたした
② $4 + (8 + 2) = 4 + 10 = 14$ 10のたばで考えた
※問題の通り式をかいてみよう。式を通して、自分の考えをみんなにわかってもらえるね。
考え方によってあらかず式がかわることがあるんだね。

14-8の計算のしかたをせつめいしましょう。

言葉でつたえよう

① 4から8はひけないから14を10と4にする。
② 10から8をひくと2。
③ 2と4をたすと6だから
④ $14 - 8 = 6$
※ 自分がどのように考えたかをわかるようにせつめいしてみよう。
言葉にまとめていると、自分の考えがもっと見えてくるよ。
言葉の力ってすごいわね。

算数科では、ノートのとめ方だけでなく、自力解決の仕方や発表の仕方についてのヒントも加え、一人学びの充実を図っている。

問題 牛にゅうを72ℓ買いました。この牛にゅうを3人で等分すると、1人ぶんは何ℓになりますか。

式 $72 \div 3$

課題 計算のしかたを考えよう。

見当 ① 72ℓを7ℓと02ℓに分けて考える。
② 01ℓが何こぶんかで考える。

実行 ① 72ℓを7ℓと02ℓに分けて考える。
(1) 7ℓを3等分する。
 $7 \div 3 = 2$ あまり1
1人ぶんは2ℓと12ℓ残る。
(2) 12ℓは01ℓが12こぶん。
 $12 \div 3 = 4$
1人ぶんは04ℓ

【実際のノート】

(3) 2ℓと04ℓで、24ℓ。

まとめ $72 \div 3$ の算数のしかた
24 ①一の位の7を3でわ
312 る。
6 ②わられる数の小数
12 点にそろえて、商の小
12 数点をうつ。
03 ③右の位の2をわらす
4 ④12を3でわる。

練習 ②
(1) $12 \div 3 = 4$ (2) $24 \div 3 = 8$ (3) $17 \div 3 = 5$ あまり1
 $72 \div 3 = 24$ $48 \div 3 = 16$ $35 \div 3 = 11$ あまり2
7 8 11
14 16 21
0 0 0

4 成果と課題

- 独自の学習ルール、ノート指導の取組を進めることによって、全職員の指導の共有化が図れるようになり、児童への個別の支援の方法がスムーズに行えるようになった。
- 教師の指示を待つのではなく、児童一人一人が見通しを持ち、自ら進んで学習に取り組めるようになってきた。(一人学びの定着)
- 1時間の授業が充実することにより、基礎学力の定着が進んだ。3つの達成目標検証テストや全国学力学習状況調査、埼玉県学習状況調査でも取組の成果が結果に表れてきている。
- 今後は、他教科についても教科の特性にあった学習のルール、ノート指導の仕方を設定し、幅広い基礎学力の定着を進めたい。また、家庭学習についても、校内で共通理解をを図り、保護者にも積極的に情報提供を行い十分連携を深めながら推進していきたい。
- 基礎的な力の習得とともに、表現力の向上を目指した、ノート指導の仕方の検討を進める。

